

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。大学では全
面対面授業が再開され、3年ぶりの学園祭開催など、
徐々にではありますが、学内にも活気が戻って来て
おります。大東文化大学は2023年度創立100周年
を迎え、6月には卒業生を招待する「ホームカミ
ング」が行われます。生協も食堂で「100周年
記念丼」をご案内する予定であります。4年ぶり
に箱根駅伝出場もあり、生協も大学とともに盛
り上がっていきたくて思っております。
昨年レジも更新され、新たに学食マネーもスタート
しました。大学からの期待も大きくなっておりま
す。学びの分野では現役の大東生が講師となって
新入生に教えるパソコン講座もスタートします。学
生の食と学びをしっかりと支えて参ります。
本年もよろしくお願いいたします。



大東文化学園生活協同組合
専務理事 石橋 健司

新年明けましておめで
とうございます。

コロナ禍に入ってから
の2年間はオンライン授業
中心になっており、学生
が大学キャンパスに
来ておりませんが、
2022年度は4月より
対面授業が行われて
おり、学生が登校す
るようになりました。
しかし、大学に来る
学生もコロナ禍前
のような状況には
なっており、生協の
利用客数も2019
年度と比べ、購買
書籍部で約5割、
カフェテリアで約6
割の利用状況とな
っており、学生の
キャンパス内での
大学生活が変って
しまったように思
います。



十文字学園生活協同組合
専務理事 大竹 康之

そんな中、10月22日・23日と
対面で学園祭が行われ、生協
学生委員会としても飲食店
(肉巻きおにぎり)と平和展
(展示会)を行い、対面
での学園祭で2年間
味わうことができな
かった「やりがい」を
感じられたと思います。

今年度も引き続き with
コロナの年になるかと思
います。厳しい状況が
続くかと思いますが、
生協職員、学生委員、
生協教職員理事など
と力を結集し頑張
っていきたくて思
います。

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

新年のごあいさつ

新年あけましておめで
とうございます。
淑徳大学みずほ台生活協
同組合は新年度で26年
目を迎えます。昨年も
コロナ禍による影響も
少なくなってきました
が、まだまだ大変な
状況になっています。
淑徳大学埼玉キャン
パスでは学部の再編
が行われ、2023年
度から「経営学部」
が東京キャンパスへ
移転し「地域創成学
部」が新設されます。
学部が変わると大学
や学生から求められる
ことも変わっていき
ます。コロナ禍にお
いても生協の役割は
変化しています。そ
ういった中でも生協
が出来ることを考え
、大学・組合員から
必要とされる生協を
目指していきたくて
思っています。
本年もどうぞよろし
くお願いいたします。



淑徳大学みずほ台生活協同組合
専務理事 松原 健司

新年のごあいさつ

あけましておめで
とうございます。
コープデリ連合会は
昨年創立30周年の
節目を無事迎える
ことができました。
あらためまして感
謝申し上げます。



コープデリ生活協同組合連合会
理事長 土屋 敏夫

新型コロナウイルス感
染症の流行から3年
が経過し、感染拡大
は予断を許さない状
況が続きながらも経
済活動、日常生活が
活発になってしま
いました。しかしな
がら、足元ではこれ
までにないレベル
でエネルギーや食
料価格などの高騰
が消費者・組合員
の家計を直撃して
います。貧困と格
差のさらなる拡大
が懸念され、地域
に根差した助け合
いの組織としての
生協の果たすべき
役割はますます重
要になっています。

コープデリグループ
は昨年、「未来へつな
ごう」をスローガ
ンに掲げました。持
続可能な社会の実
現に積極的に関与
していくとともに
、激変する経営環
境に対応し、消費
者・組合員に寄り
添う生協の事業
と活動に邁進して
まいります。

本年もどうぞよろしく
お願いいたします。

新年のごあいさつ

あけましておめで
とうございます。
昨年も、埼玉県行政
をはじめ、埼玉県議
会、県内諸団体の皆
様より、当会および
埼玉県内の生協に
対し多大なご支援を
いただき、厚く御礼
申し上げます。
ロシアによるウクラ
イナ侵略の長期化
により、世界情勢も
私たちの暮らしも
大きな影響を受け
ました。「くらしは
平和であってこそ」
の思いを新たに
しつつ、食料とエネ
ルギー資源の多く
を輸入に頼るくら
しの現実を知り、
生産や消費の問題
について目を向け
ざるを得なかった
年でもありました。
県内の生協は、コ
ロナ禍の出口が見
えない中、事業と
活動の両面で「日
常」を取り戻す努
力をしつつ、生活
困窮者への食料の
寄贈、市民団体へ
の助成などを通
じた生活支援を行
い、ウクライナ人
道支援募金に取
り組むなど、助け
合いの組織とし
て積極的に活動
いたしました。
しかしながら足元
では、記録的な円
安とエネルギー
資源高、食料価格
の高騰が暮らし
を直撃してい



埼玉県生活協同組合連合会
会長理事 吉川 尚彦

ます。組合員の節
約志向が顕著とな
る一方、コストの
上昇により事業も
厳しさを増してい
ます。コロナ禍の
長期化による社会
的弱者の孤立の固
定化、物価高騰に
よる貧困と格差
拡大、若年層など
の消費者被害も危
惧されます。
明るい材料は見
出しにくい状況
ですが、厳しい局
面だからこそ、
組合員に寄り添
い、くらしを支
える事業と活動
を進めるととも
に、行政・諸団
体との連携を深
め、世界的な気
候変動、自然災
害、食料問題、
紛争などの課題
解決に向け、持
続可能な社会づ
くりへ貢献して
いきたくて思
います。
結びにあたり、
皆様のご健勝と
ご多幸を心より
祈念し、新年
のごあいさつと
いたします。
本年もどうぞ
よろしくお願
い申し上げます。

新年のごあいさつ

新年あけましてお
めでとうございま
す。2022年は新
型コロナウイルス
の感染拡大だけ
でなく、ロシア
によるウクライ
ナ侵攻で世界中
が大きな影響
を受けた1年
になりました。
パルシステム
ではグループ
全体でウクラ
イナ人道危機
緊急募金に
取り組み、
パルシステム
埼玉でも組
合員約2万人
から2,100
万円を超える
募金が集まり
ました。平和
はくらしの
基盤であり何
より大切です。
幅広く平和
について考
え、組合員・
市民の立場
からできる
ことを一歩
ずつすすめ
たいと思
います。
世界情勢や
気候変動、
円安も原因
となってあ
らゆる物
やエネルギ
ーの価格が
上がり、く
らしはま
すま
す厳しくな
っています。
組合員や
産地・メ
ーカー、地
域の方々と
一緒にな
ってこの
状況に向
き合い、
助け合
いの組
織とし
ての価値
を地域
に広げ
ていき
たくて
思
いま
す。本
年
も
ど
う
ぞ
よ
ろ
し
く
お
願
い
い
た
し
ま
す。



生活協同組合パルシステム埼玉
理事長 樋口 民子

新年のごあいさつ

あけましてお
めでとうござ
います。
コープみらい
は「未来へつ
なごう」をス
ローガンに、
組合員や取引
先、諸団体
などと連携
した取り
組みを進
めていま
す。コロナ
禍で困難な
生活を強
いられて
いる方々
を支援す
るため、
昨年3月
から1年
間、約200
トンの米
を地域の
フードバ
ンクなど
48の団
体に寄贈
してい
ます。こ
の取り
組みで米
の消費
減少に
苦悩す
る生産
者の
応援に
もつな
げたい
と考
えて
いま
す。「子
ども・
子育て
支援基
金」は、
組合員
から書
き損じ
はがき
や未使
用切手
などを
専用封
筒で預
かり、
換金で
得られ
た資金
を子
ども
たち
を支
援する
内外
の団
体に
活用
いた
だく
もの
です。
2022
年は3
万8千
通を超
え、2,4
00万
円の
寄付
につ
なが
りま
した。
2023
年は
コー
プみ
らい
創立
10周
年。こ
れか
ら
も組
合員
の「声
」を大
切に、
事業
と活
動を
通じ
て組
合員
のく
らし
に貢
献し
てま
いり
ま
す。
本年
もど
うぞ
よろ
しく
お願
い
い
た
し
ま
す。



生活協同組合コープみらい
理事長 新井 ちとせ



コパトン さいたまっちゃん



新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

昨年は、コロナ感染症対策を取りながら活動をすすめて、少しずつ明るさが出てきました。

デポー越谷の開所により組合員も増え、3店舗になったデポー運営に活気が出てきました。また、教育機関へのゲノム編集トマト苗を受け取らないための活動や、オンラインを利用しながら生産者交流会、学習会の開催もすすみました。埼玉県市民ネットワークと協働して予算要望書及び政策提案書の提出、労働者協同組合法の施行によりワーカーズ・コレクティブ運動への関心が高まりました。

今年は仲間を増やし、いろいろな形で「つながり」を作りたいと思います。一人ではできないこともおおぜいの力でできることがあります。県内各生協や諸団体、行政機関ともつながりを高め、私たちが望む社会づくりをすすめていきたいと思っています。本年もよろしくお祈りいたします。



生活クラブ生活協同組合
理事長 石井 清美

つぎの30年に向けて

新年あけましておめでとうございます。日頃より医療生協の活動をご支援いただき誠にありがとうございます。

医療生協さいたまは、1992年4月に県内にあった6つの医療生協が合併し、30周年を迎えました。この間、多くの方々に支えられながら健康づくりや暮らしやすい街づくりに取り組み、医療・介護事業を拡大させてまいりました。東日本大震災、原発事故、新型コロナパンデミックなど困難な中であっても活動を維持・発展させることができたのも、人と人とのつながりや集うことを大切にしてきたからだと考えております。初心を忘れずに、これからの30年も、地域になくはならない存在として発展させていきたいと考えております。

この新しい年が皆様方にとって健康で笑顔ある一年となることを心より祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



医療生協さいたま生活協同組合
理事長 雪田 慎二

継続は大きな力

組合員に依拠して
さらなる前進を目指します

明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染が始まり3年が経過しようとしています。事業運営にも大きな影響を受けています。新たな日常生活を一日も早くスタートさせたいものです。

私たちは、総代会で掲げたスローガン「組合員の信頼に応え組合員を主人公に」を目指して活動し、昨年8月、創立30周年を迎えました。組合員はじめ、関係各位のお力添えと感謝申し上げます。今年も「SDGs」に貢献する取り組みをはじめ、憲法を守る運動、平和を求める運動などを事業活動と合わせて取り組んでいきます。

今年が皆様方にとって健康で、笑顔あふれる年になることをお祈りし、新年のあいさつといたします。



さいたま住宅生活協同組合
理事長 後藤 晴雄

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

「最悪」と形容された生活協同組合・さいたま高齢協介護保険法の改正案が「先送り」となりました。

介護保険は超高齢社会を支える大切な社会保障制度で、制度の維持継続は絶対に必要です。しかし、制度維持の為に給付抑制と負担増を合わせた改正案には様々な懸念があります。中でも、利用料金を上げるという案は、介護を必要不可欠とする高齢者からサービスを奪う可能性があります。値段が倍になれば買えない人が出てきます。サービスを買えず、今ある生活を継続できないことは、高齢者福祉にとって最悪です。

さいたま高齢協は、元気な高齢者がもっと元気に暮らし、超少子高齢社会の支え手になることが役割です。しかし、確実に必要となる介護を一部の専門家や関係者の議論に留めず、国民的な関心を喚起するのも私たち生協の役割ではないかと思っています。



生活協同組合・さいたま高齢協
理事長 坂林 哲雄

新年のごあいさつ

お健やかに新年をお迎えることとお慶び申し上げます。

ここ数年のコロナの影響は依然拡大と縮小をくり返し、変動する国際情勢の中で多くの人々に、不安な日常生活をもたらし、今も終息の兆しが見られない状況にあります。

私たちは感染拡大防止に向け、手指の消毒、手洗いがい、三密を避けるなど基本の対策が引きつづき求められています。

このような中で、生協の活動も、全国的に衣食住等に亘る福祉への取り組みに組合員から大きな期待が寄せられています。

当生協は前年に引き続き賃貸住宅等の住環境の老朽化対策として、メンテナンスの向上に努める所存です。

新年を迎え組合員皆様のご健勝を、心よりご祈念申し上げ、今年も宜しくお祈り申し上げます。



埼玉県労働者生活協同組合
理事長 関根 正道

新年のごあいさつ

明けましておめでとうございます。

埼玉県では昨年6月の県北部・県東部での降雪、また、7月の鳩山町を中心とした記録的大雨により住宅や車両等へ大きな被害がありました。被災された皆さまに謹んでお見舞いを申し上げますとともに、被害を受けられた組合員の皆さまの早期の生活再建に向け、迅速な損害調査および共済金のお支払いに努め、最後のお一人までしっかりとお支払いの対応にあたります。

本年も、こくみん共済coopでは「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」の理念のもと、子どもの健全育成や社会課題の解決に寄与する取り組みなど、組合員の皆さまに寄り添い安心して生活を送れるよう、安心と信頼の「共済生活協同組合」の役割を果たしてまいります。

結びに皆さまのご健勝を心よりご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



埼玉県労働者共済生活協同組合
理事長 金井 浩

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、今なお埼玉大学生協にも影響を及ぼしています。2022年度は原則対面授業となり大学に学生の姿が戻ってきましたが、2019年以前と比べるとまだ70%程度の状況です。一方、夏休み期間以降は課外活動の制限も緩和され大学祭も3年振りに開催されました。生協も新入生交流会や保護者説明会など対面での企画の実施も再開させ、本来の活動が戻ってきています。

このような状況の中、埼玉大生協では大学生同士の交流やコミュニティ作りなどに貢献できるように様々な取り組みを行ってまいります。現在も4月からの新入生を迎えるべく、教職員・学生委員会一同となって準備を行っております。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。



埼玉大学生生活協同組合
専務理事 河本 健太郎

新年のごあいさつ

跡見学園女子大学生生活協同組合
専務理事 吉永 治礼

新年明けましておめでとうございます。

跡見学園女子大学では、10月からようやく「原則対面講義」となり、昼休みの需要など、にぎわう時間も増え、友達との会話、笑いあう様子などが見受けられ、日常を取り戻しつつあります。

しかし、2019年度比較で5割ほどの回復状況で依然として厳しい経営状況は続いております。

いまだに対面講義でも、友人がいなくて居場所がない、友人とつながれず孤独など、大きな不安が聞かれています。

生協では、どうしたら学生さんの“危機”に対応していけるのか、感謝されるために何ができるか、試行錯誤の毎日です。学生と協力し、この“危機”に総体で取り組んでいく決意です。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

